



学校(学科)情報

令和9(2027)年度入学者選抜用(全日制課程)

学校名	とちぎけんりつおおたわらこうとうがっこう		所在地 及び アクセス	〒324-0058
	 栃木県立大田原高等学校			栃木県大田原市紫塚3丁目2651番地 関東自動車西那須野-那須赤十字病院線 大田原高校前、大田原市営バス市内循環線 大高入口 徒歩2分
課程	生徒数 (R8.5.1現在)	設置学科	電話	0287-22-2042
全日制課程	594人 男594人 女0人	普通科	学校HP	https://www.tochigi-edu.ed.jp/otawara/nc3/ 
スクール・ミッション	大学や研究機関等と連携した先進的な理数系教育を通して、地域社会、国際社会の持続的な発展に貢献できる人材を育成する学校			
スクール・ポリシー	<p>【グラデュエーション・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような資質・能力を育成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな創造力と正しい判断力を養い、課題を見出し解決する力を育成します。 ・自他を尊重し社会の一員として、主体的に未来を切り拓く態度を育成します。 ・心身の鍛錬を通し、不屈の精神や豊かな人間性、逞しい実践力を育成します。 <p>【カリキュラム・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような教育活動を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業第一主義のもと、研究機関等と連携した先進的な理数系教育を実施します。 ・協働を通して課題解決を図る調査研究等、創造性を育む探究活動を実施します。 ・強歩・寒稽古等、心身を鍛錬し人間力を高める特色ある学校行事を実施します。 <p>【アドミッション・ポリシー】</p> <p>本校では、次のような生徒の入学を期待しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路について明確な考えを持ち、自己実現のために意欲的に努力する生徒 ・生徒会活動・学校行事・部活動等に積極的に取り組み、学業と両立できる生徒 ・社会的事象や自然事象に関心を持ち、課題解決に向け主体的に探究する生徒 			
その他特記事項	スーパーサイエンスハイスクール事業指定校			

入試情報(全般)

学力検査と調査書の 評定等の比重	学力検査(学力点)						調査書の評定 (調査書点)	学校独自検査 (独自検査点)
	国語	数学	英語	社会	理科	計		
特色選抜	100	100	100	100	100	500 [63%]	135 [17%]	165 [21%]
一般選抜	100	100	100	100	100	500 [90%]	55 [10%]	—
選抜の 手順等	<p>【第1次選抜(特色選抜)】</p> <p>調査書や学校独自検査結果を重視し、学力検査結果も活用して選抜する。</p> <p>「資料の取扱い」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現シートは、調査書とともに、資格要件の確認及び学校独自検査時の参考資料として用いる。 ・調査書の「特別活動の記録」の「特記事項」及び「その他参考となる諸事項等の記録」は、学校独自検査時の参考資料とし、学校独自検査を通じて見取った内容を踏まえ評価する。 ・学校独自検査で見取った内容は、「学校独自検査の評価表【別表1】」を基に評価する。 <p>「選抜の手順」</p> <p>第1次審議 学力点、調査書点及び独自検査点の合計が特色選抜の募集定員の80%以内にある者(ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の80%以内にある者)を対象とし、合格者を選抜する。</p> <p>第2次審議 第1次審議で合格となった者を除いたすべての受検者について、全ての検査結果及び調査書の点数化されない部分を総合的に十分勘案して合格者を決定する。</p> <p>【第2次選抜(一般選抜)】</p> <p>学力検査結果を重視し、調査書等を活用して選抜する。</p> <p>選抜の詳細については、令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則のとおり。</p>							
第2志望の 志願等								
合格者 発表	日時	令和9年3月12日(金)午前10時から						
	場所	本校理科棟前						
	その他	入学予定者説明会を、3月25日(木)8時20分から実施する。						

特色選抜入試情報

特色選抜の割合	20%	
特色選抜資格要件	<p>進路について明確な考えを持ち、その実現のために意欲的に努力している者のうち、次の(1)、(2)のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 中学校での部活動・生徒会活動・学校行事等、または、地域でのスポーツ・文化活動等に意欲的に取り組んだ経験を有し、本校入学後もこれらの活動に主体的に取り組む意志のある者</p> <p>(2) 社会的事象や自然事象に関心を持ち、中学校時代に探究活動に意欲的に取り組んだ経験を有し、本校入学後も主体的に探究活動に挑戦する意志のある者</p>	
自己表現シートの学校独自質問	なし	
選抜の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・学力検査 ※一般選抜で実施する学力検査をもってこれに代える。 ・学校独自検査 「プレゼンテーション(※)」 ※本校を志願する理由(資格要件を満たす理由)について発表してもらい、それに関する質疑応答を含め、10分程度とする。発表の時間は3分程度とする。 	
提出書類	<ul style="list-style-type: none"> ・入学願書 ・調査書 ・自己表現シート ・その他必要な書類 	
検査当日の日程	2月25日(木)、26日(金) ※26日は実施しない場合もある	
	受付	8:20~
	諸連絡等	8:50~
	検査	9:20~
	備考 学校独自検査の開始時刻及び終了時刻は受検者によって異なるので、受検票の印刷時の諸連絡でお知らせする。	
検査当日の必携品	令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則に定められたもののほか、ノートPCやタブレットなどの受検者自身の端末を持参すること。	
検査実施に係るその他の事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本校ではプロジェクタ及びケーブルを用意します。プレゼンテーションでは、受検生が持参したノートPCやタブレット等の端末を使用してください。スライドを作成するソフトウェアに制限はありません。 ・発表時にはプロジェクタへHDMIケーブルで接続します。ケーブルは本校で用意しますので、持参する端末がHDMI接続に対応していることを事前にご確認ください。 	

一般選抜入試情報

選抜の方法	学力検査	
提出書類	・入学願書 ・調査書 ・その他必要な書類	
検査当日の日程	2月24日(水)	備考
	学力検査日の受付、学力検査時間については、入学者選抜実施細則のとおり。	海外帰国者、外国人等の措置を受ける場合には、日程を別途連絡する。
傾斜配点		
検査当日の必携品	令和9年度栃木県立高等学校入学者選抜実施細則に定められたものを持参すること。	
検査実施に係る その他の事項	なし	

【別表1】学校独自検査の評価表

評価の観点			
ア 進路を構想する力	イ 継続して努力する力	ウ 主体的に参加する力	エ 表現する力
評価規準			
自分の興味や関心をもとに将来の進路を明確に描き、その実現に必要な準備を理解し、自ら計画を立てて行動している。	スポーツ・文化活動、特別活動、探究活動等に、継続的に努力してきた経験があり、高校ではその力をさらに伸ばそうとする意欲がある。	スポーツ・文化活動、特別活動、探究活動等において、自ら課題を見だし、積極的に活動に取り組んでいる。	伝えたい内容を整理し、声・話し方・態度などを工夫して、聞き手に理解しやすい形で表現している。
評価基準			
「優秀であると評価できる」状況 将来の進路を明確に描き、その実現に必要な準備を十分に理解し、自ら具体的に計画を立てて行動している。	「優秀であると評価できる」状況 継続的に努力してきた経験があり、高校でもその力をさらに伸ばそうとする意欲が明確に示されている。	「優秀であると評価できる」状況 自ら課題を見だし、創意工夫しながら積極的に活動に取り組み成果を得た。	「優秀であると評価できる」状況 資料の内容の適切さ、言語・非言語表現、質疑応答での対応のいずれも優れており、発表全体として論理的で高い説得力がある。
「良好であると評価できる」状況 将来の進路を明確に描き、その実現に必要な準備を理解し、自ら計画を立てて行動している。	「良好であると評価できる」状況 継続的に努力してきた経験があり、高校でもその力をさらに伸ばそうとする意欲がある。	「良好であると評価できる」状況 自ら課題を見だし、創意工夫しながら積極的に活動に取り組んでいる。	「良好であると評価できる」状況 資料の内容の適切さ、言語・非言語表現、質疑応答での対応のいずれも良好で、発表全体として論理的で十分な説得力がある。
「適性があると評価できる状況」 将来の進路を明確に描き、その実現に必要な準備を理解している。	「適性があると評価できる状況」 継続的に取り組んだ経験があり、高校でもその力を生かそうとする姿勢がうかがえる。	「適性があると評価できる状況」 自ら課題を見だし、活動に取り組んでいる。	「適性があると評価できる状況」 資料の内容の適切さ、言語・非言語表現、質疑応答での対応に一定の良さが見られ、発表全体として論理性や説得力がおおむね保たれている。
「適性がないと評価できる状況」 将来の進路を描いている。	「適性がないと評価できる状況」 継続的な取り組みの経験がある。	「適性がないと評価できる状況」 いずれかの活動に参加している。	「適性がないと評価できる状況」 資料の内容の適切さ、言語・非言語表現、質疑応答での対応に課題が見られ、発表全体として論理性や説得力が十分に確保されていない。
独自検査点の算出方法			
それぞれ観点について、評価基準に基づき、4段階で評価し点数化する。3名の評価者が個別に評価を行い、その合計点を165点満点の独自検査点とする。			